

# アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

## 令和6年度長期就農研修 研修風景（6月分）

各研修生が栽培している農作物の生育状況及び  
研修生からのコメントを御紹介します！

### 1 加藤憲子 氏

- ・ハウスの温度管理のための工夫が難しい。
- ・かん水チューブにも大きさ（太さ）があることが分かった（結果的にやり直した）。
- ・キュウリは簡単だとよく言われるが、実際は教科書どおりの良い形の花が咲かず、温度や水、肥料のコントロールが難しい。



左写真：キュウリの草勢を回復させるため、摘花している様子

## 2 神田 氏

- ・ミニトマトの袋栽培に挑戦。かん水の方法は他県の資料を参考にした。水分を絞りすぎた結果、実が大きくならなかった。
- ・スティックセニョールとブロッコリーでは、農薬の登録が異なることが分かった。
- ・管理機の設定を間違え、畝の高さが思いの外高くなってしまった。

※袋栽培：自立する培養土袋に、直接定植する栽培方法。

右写真：ミニトマトの袋栽培の様子



## 3 高久 氏

- ・キュウリは1日収穫できない日があり、もともとあった実は大きくなりすぎて規格外になったり、他の花に栄養がいかず、後にそれはこぶりの実になったりした。
- ・ハウレンソウはシードアドバイザーが在籍する種苗販売店さんに教えてもらった結果、発芽率良好であり、生育も順調。出荷先は白河市内のラーメン屋さん2店舗と契約することができた。
- ・父親のブロッコリーの収穫を手伝っているが、包丁で自分の手を切りそうになった。



左写真：収穫最盛期を迎えたハウレンソウ

## 4 高久哲也 氏

- ・ブロッコリーの定植は思いの外大変であり、腰を痛めた。定植をサポートする椅子を見つけ購入した。
- ・自身の農地のブロッコリーは生育が芳しくないが、こちらのブロッコリーは生育順調。
- ・スイートコーンも生育は順調であり、ハウス栽培であることからアワノメイガ対策は検討中。

右写真：収穫最盛期を迎えた農短大の  
ブロッコリー



## 5 松井啓喜 氏

- ・草マルチを実施するため、イネ科雑草を集めているが、十分な量を確保するのが大変だった。始めからイネ科の牧草等を栽培すれば良かったかもしれない。
- ・キュウリは栄養不足になった。堆肥を散布しなかったことが原因と推察。追肥で対応したい。
- ・カボチャは品種選びを間違ったかもしれない。寒さに弱い品種を選択した。



左写真：キュウリについて、農業総合センター  
有機農業推進室担当者と相談している様子

## 6 橋本蒼士 氏

- ・ 1つのハウスの中に、トマトとミニトマトを定植した。畝でわけるともりが、途中で分からなくなり、1つの畝でもトマトとミニトマトが混在している。
- ・ かん水に失敗し、ミニトマトに勢いがある。追肥等のコントロールに留意したい。

右写真：ミニトマト収穫の様子



**「ふくのう」インスタグラムもご覧ください！**

『福島県で農業しよう！「ふくのう」福島県 農業経営・就農支援ポータルサイト』の公式インスタグラムでは、長期就農研修生の研修風景も随時更新されていく予定です。こちらもぜひご覧ください！

[https://www.instagram.com/fukunou\\_official?igsh=MWgxNWlzcG5vZjFuMg==](https://www.instagram.com/fukunou_official?igsh=MWgxNWlzcG5vZjFuMg==)